

2024年度 教員の自己点検・自己評価報告書

所属学部 学科	職位	氏名
教育学部 子ども発達学科	准教授	新實広記
最終学歴	学位	専門分野
愛知教育大学大学院教育学研究科芸術教育専攻修士課程	学術	幼児の造形・図画工作・美術科教育、造形制作

I 教育活動

○理念・目標・方針・計画（方法）

【理念】

「オンリーワンを、一人に、ひとつ。」をコンセプトに、学生一人ひとりがプロジェクトに挑戦できる教育。

【目標】

学生一人ひとりの興味や関心を大切に、学生が学びのために挑戦できる環境や、学生が様々な人と出会う機会を積極的につくっていく。また、学生が成長できたと実感できるように、大学での学びと教育現場や地域での実践的な学びを効果的に構成し、学生のコミュニケーション能力と実践力を育てていくことを目標とする。

そのためには、連携していただく教育現場や公共施設、企業が地域に多く必要となるが、それらの方々と積極的に交流、交渉し、教育的な意義を理解いただいた上で協力していただける場を増やしていく。

学生が主体的かつ実践的に学べる教育プログラムの整備に努力する。愛知東邦大学の学生が地域に信頼される学生になるよう、「真に信頼して事を任せうる人格の育成」を目指し教育活動を行う。

【方針】

小学校教諭・保育者（幼稚園教諭及び保育士）養成課程において、学生が質の高い教育、保育を行うために、養成段階で苦手意識を克服し、興味関心のある分野に対してさらなる研究を深められるようサポートをする。また、卒業後も自らの課題に気がつき、改善に努められるような、教育・保育実践力を自ら育てていくことができる人材を育成する。

【計画（方法）】

- ・授業で学んだ内容を実際に幼児や児童に実践して、自らの成長と改善点を体験的に実感できるように、地域と連携した教育活動を行う。
- ・多様な分野のゲストスピーカーの活用や、様々な子どもに関する施設での研修会を積極的に導入して、学内外において学生が様々な社会の現状や課題にリアルに気がつき、多様な人との出会いができる機会を設け広い視野で実践的な学びが得られるようにする。

○担当科目（前期・後期）

（前期）

『図画工作』、『保育内容（造形表現）』、『基礎演習Ⅰ』、『総合演習Ⅰ』、『専門演習Ⅰ』、『専門演習Ⅲ』 『サービス・ラーニング実習Ⅰ』（オムニバス）

（後期）

『基礎演習Ⅱ』、『総合演習Ⅱ』、『専門演習Ⅱ』、『専門演習Ⅳ』、『卒業研究』、『図画工作科教育法』

○教育方法の実践

- ・他大学連携造形ワークショップ「ことことキャラバン 2023 in 愛知東邦大学」
愛知東邦大学学生と至学館大学学生、豊橋創造大学学生との共同企画で、愛知東邦大学において地域の子供達に向けて造形ワークショップを実施。他大学学生と交流しながら造形ワークショップを企画することで、それぞれの大学での学びの特色や、得意とすることをお互いに共有しながら視野が広がるように実施した。ワークショップ終了後には、学生間で意見交換を行い、お互いの気づきを伝え合った。
会場：愛知東邦大学 LC ホール 協力：至学館大学学生、豊橋創造大学 2024 年 1 月
- ・基礎演習における 10meet 10persons の実施 2024 年 4 月～2024 年 11 月
教育学部基礎演習では、子どもに関する様々な分野、フィールドで活躍する人たちとの出会いを大切にして、1 年間で新たな 10 人と出会う「10meet 10persons」を企画、実施。
協力：うりんこ劇団、ジナゾル株式会社、森の学舎、愛知県児童総合センター、絵本専門店ピコット、名古屋市東山動物園
- ・造形ワークショップ企画 TOHO アートキャラバン 2024 vol.1 「造形ワークショップ」
保育内容(造形表現)で実施した模擬授業での研究成果を実際に子供達に実践することで、模擬授業では明らかにならなかった子供の反応を知ることや、声かけの方法、課題の発見を目的に実施した。
会場：愛知東邦大学 LC ホール 2024 年 7 月
- ・造形ワークショップ企画 TOHO アートキャラバン 2024 vol.2 「ゆめのまちづくり」
「保育内容(造形)」「図画工作」「図画工作科教育法」「専門演習(造形ゼミ)」で行った授業をもとに地域と連携して子供たちの造形ワークショップを実施。造形を専門とする 3 年ゼミ学生の主体的な取り組みを促した。当日は、下級生もワークショップのサポートに入り実習体験の豊富な先輩から後輩へアドバイスをする姿も見られた。
会場：愛知東邦大学 LC ホール 2024 年 8 月
- ・TOHO アートキャラバン 2024 vol.3 「夏祭り造形屋台で遊ぼう！」
「保育内容(造形)」「図画工作」「図画工作科教育法」「専門演習(造形ゼミ)」で行った授業をもとに地域と連携して子供たちの造形ワークショップを実施。造形を専門とする 4 年生ゼミ学生の卒業研究のテーマの確認、子供の表現の理解を目的に実施。当日は、下級生もワークショップのサポートに入り実習体験の豊富な先輩から後輩へアドバイスをする姿も見られた。
会場：愛知東邦大学 LC ホール 2024 年 8 月
- ・TOHO アートキャラバン 2024 vol.4 「大きな大きな絵を描こう！」
「保育内容(造形)」「図画工作」「図画工作科教育法」「専門演習(造形ゼミ)」で行った授業をもとに地域と連携して子供たちの共同制作を主とした造形ワークショップを実施。造形を専門とする 4 年生ゼミ学生の卒業研究のテーマの確認、子供の表現の理解を目的に実施。当日は、下級生もワークショップのサポートに入り実習体験の豊富な先輩から後輩へアドバイスをする姿も見られた。
会場：愛知東邦大学 LC ホール 2024 年 8 月
- ・造形ワークショップ企画 TOHO アートキャラバン 2024 vol.5 「おしゃれなぼうしとおしゃれなふくをつくろう！」
卒業研究での成果を試すために、地域の子どもたちを対象に造形ワークショップを実施。日頃の学生の研究や学びの成果を実際に実践することで、新たな気づきや、課題の発見につながるよう

に学生と企画から実践、振り返りまでを行った。

会場：愛知東邦大学 LC ホール 2024 年 12 月

・他大学連携造形ワークショップ ことことキャラバン 2024 in 愛知東邦大学

愛知東邦大学学生と至学館大学学生、愛知学泉短期大学学生との共同企画で、愛知東邦大学において地域の子供達に向けて造形ワークショップを実施。他大学学生と交流しながら造形ワークショップを企画することで、それぞれの大学での学びの特色や、得意とする分野をお互いに共有しながら視野が広がるように実施する。ワークショップ終了後には、学生間で意見交換を行い、お互いの気づきを伝え合った。

会場：愛知東邦大学 LC ホール 協力：至学館大学、愛知学泉大学 2024 年 12 月

○作成した教科書・教材

「サービス・ラーニング」ハンドブック第 10 版 2024 「サービス・ラーニング」の意義と留意事項。各手続きの説明。参加学生の感想ノートなどをまとめた「サービス・ラーニング」ハンドブック作成。

○自己評価

今年度の基礎演習では、「10meet 10persons」と題して、子どもに関する専門分野で活躍をする人々と出会う機会を多く設けて学生の学びの意欲や将来について深く考えるきっかけになるように授業内容を工夫した。また、図画工作、造形の授業で学んだ内容を子どもと触れ合いながら実践できるように、造形ワークショップの機会を多く持ち、学生自ら企画、実践、振り返りを行い、実践力を養える機会を作れるように工夫した。授業評価も良い評価が得られたため、学生の学びの好奇心に応えることができたと思う。

II 研究活動

○研究課題

- ・保育者、幼稚園・小学校教諭における子どもの造形遊びと図画工作の指導法（教材・題材）研究
- ・美術空間の創造（社会におけるアートの役割の考察）

○目標・計画

【目標】

行政や教育現場、企業と連携し、さまざまな造形ワークショップ、展覧会を開催し子ども達やその保護者、教育現場教員に体験的に美術教育の意義を理解してもらい、美術教育が重要な学問であることを伝えていくことを目標とする。

また、美術教育で養われる「想像力」と「創造力」は、人が人として生きていく上でとても大切なものであることを伝えるために、教材と題材の研究をまとめ、幼・保・小・中の教育現場へ授業プログラムとして提供できるように教員研修会での講演や著書の執筆、教育現場での指導実践にも取り組む。

さらに、これまでの研究の継続として、アートの起源や歴史、アートが社会に与えた影響、人間とアートの関わりなどを振り返りながら、現代における美術教育の意義、社会におけるアートの役割と可能性を実践的に研究する。

美術空間の創造（社会におけるアートの役割の考察）では、彫刻制作を通して「環境と彫刻」をテーマに様々な実践的研究を行ってきた。「環境と彫刻」の研究では、都市の環境やその土地の歴史文化、そこに暮らす人々も作品の要素として捉え、相互に共鳴し形成される環境彫刻の制作研究

を試みるものである。

「美術空間の創造」というテーマで、「芸術や美術」が果たして人間にとって生活の中でどのような役割があるのかを根源的に捉える研究を継続して進めていきたいと考えている。

【計画】

- ・小学校教諭、保育者養成における図画工作、造形表現科目に関する教材、題材、技法研究を行い、図画工作、造形表現活動の意義について研究を深める。
- ・日本美術教育学会大会誌編集委員を継続して行い、様々な研究の情報共有に勤めていく。
- ・授業時間にゆとりがなく美術館に行く事ができない子どもたちのために、校舎や空き教室で美術作家の作品展示とアーティストトークによる鑑賞教室を行う「学校美術館」の研究を今年度も継続して教育現場教員と共に連携して行う。
- ・彫刻表現の可能性を探る作品制作と展示を行う。

○2017年4月から2025年3月の研究業績（特許等を含む）

（著書）

- ・小松英彦 富永昌二 西田眞也 新實広記 他『質感科学ハンドブック』共著 東京大学出版会 第5章文化の中の質感（芸術・工芸・歴史）5-4節 ガラス pp288-295 2025(令和7年)1月15日
- ・樋口一成 新實広記 他『小学校図画工作の基礎 造形的な見方や考え方を働かせる学び』共著 萌文書林 第3章 版画 4.版を用いた表現④-スチレン版画 pp76-77 第5章デザイン・映像メディア表現 12.モダンテクニックとその活用 pp128-129 13. モダンテクニックを活用した紙芝居づくり pp130-131 第6章 18 モザイクで表す pp186-187 2020(令和2年)1月
- ・新野貴則 福岡知子 新實広記 他 『図画工作科教育法 明日の小学校教諭を目指して 子供の資質・能力を育む』共著 萌文書林 第4章 図画工作科の実践事例 14. 中学年 立体に表す活動②pp158-161 図画工作科で用いる材料や技法 4.木で表す（木材の加工法と用具） pp236-237 8.版で表す pp241 10.様々な接着剤、接着テープの性質 pp244-pp245 2019(令和元年)8月
- ・『教員と保育士の養成における「サービス・ラーニング」の実践研究』共著第5章 幼稚園・小学校におけるサービス・ラーニング（新實 広記）唯学書房 2019(平成31年)2月
- ・樋口一成 新實広記 他 『幼児造形の基礎 乳幼児の造形表現と造形教材』共著 萌文書林 第3章 幼児の造形教育の教材-材料や技法の基礎理解「版画①」版の種類や用具の使い方 pp.68-69 第4章 幼児造形教育への実践-大学での実技体験や教育現場での実践例「コラージュ」pp.130-131、「ゴム版をつくろう」 pp.156-157、「木を切る・打つことからの展開」 pp.166-167、「共同での制作-ものづくり交流の教材実践」 pp.200-201 2018(平成30)年11月
- ・大橋功 松岡宏明 新實広記 他 『美術教育概論（新訂版）』共著 日本文教出版 第Ⅱ部 第7章 幼児造形表現指導の計画と実践 pp84-89 2018(平成30)年10月
- ・辻泰秀 新實広記 他 『造形教育の手法 えがく・つくる・みる』共著 萌文書林 第3章 「版画」 スチレン版画 pp.66-67 第5章 「デザイン・映像メディア表現」 モダンテクニックとその活用 pp.118-119 モダンテクニックを活用した紙芝居づくり pp120-121 モザイクで表す pp170-171 2017(平成28)年3月

（学術論文）

- ・古市久子、新實広記、矢内淑子、伊藤数馬、「保育士・教員養成課程の表現科目における共感的要素を使った教授法Ⅲ -造形表現の授業の分析を通して -東邦学誌 第46巻第1号 2017(平成29)

年 6 月 10 日 発刊

- ・辻泰秀、早矢仕晶子、新實広記、江村和彦「造形教育における美術鑑賞の指導法 (2)」-「学校美術館」でのギャラリー・トークの方法-岐阜大学教育学部研究報告 人文科学 第 65 巻 第 2 号 2017(平成 29)年 3 月

(学会発表)

- ・パネリスト：新實広記、山本富章、阿部多偽、モデレーター：天野一夫 シンポジウム「表現としての豊田」 主催：豊田市文化振興課 2022 (令和 4 年) 年 12 月 17 日 (土) 14:00-16:00
- ・講演 「豊田市民芸館蔵のガラス工芸」 2022 年 7 月 14:00~16:00
豊田市民芸の森 旧本多静雄亭/ 豊田・愛知
- ・パネリスト：新實広記、稲垣誠、水谷誠孝 モデレーター：山極裕史 「aaca サロン まちとのインターフェイス・人とのインターフェイス」 建築美術工芸協会 2020 (令和 2 年) 年 12 月 18 日 (金) 17:00-18:30
- ・新實広記、水谷誠孝 平成 30 年度全国保育士養成セミナー 中部ブロック独自企画 ワークショップ「さまざまな素材を写して遊ぶ版画」
一般社団法人全国保育士養成協議会主催 2018(平成 30)年 9 月 16 日
- ・山田唯仁、辻泰秀、新實広記「学校美術館」鑑賞教育プロジェクト 2-作品・アーティスト・子どもをつなぐ活動- 美術科教育学会 2017(平成 29)年 3 月 28 日

(特許)

なし

(その他)

<報告書>

- ・「てのこぼあそび、つくる、育ちの日々」ものづくり教育会議 vol.9 2024(令和 6)年 7 月
- ・「てのこぼあそび、つくる、育ちの日々」ものづくり教育会議 vol.8 2023(令和 5)年 7 月
- ・「てのこぼあそび、つくる、育ちの日々」ものづくり教育会議 vol.7 2022(令和 4)年 7 月
- ・「てのこぼあそび、つくる、育ちの日々」ものづくり教育会議 vol.6 2021(令和 3)年 7 月
- ・「おてら meets フェスティバル アール・ブリュット展ギャラリートーク」全美協造形教育フォーラム 2019 報告 大学美術教育研究 全国大学造形美術教育教員養成協議会 第 19 号 2021(令和 3)年 3 月
- ・「てのこぼあそび、つくる、育ちの日々」ものづくり教育会議 vol.5 2020(令和 2)年 7 月
- ・「てのこぼあそび、つくる、育ちの日々」ものづくり教育会議 vol.4 2019(平成 31)年 7 月
- ・「てのこぼあそび、つくる、育ちの日々」ものづくり教育会議 vol.3 2018(平成 29)年 7 月
- ・「てのこぼあそび、つくる、育ちの日々」ものづくり教育会議 vol.2 2017(平成 29)年 7 月

<主要作品発表>

- ・新實広記 「ポケモン×工芸 美と技の大発見」 2024 年 7 月
麻布台ヒルズギャラリー/麻布台・東京
- ・新實広記 「ポケモン×工芸 美と技の大発見」 2024 年 7 月 MOA 美術館 /熱海・静岡
- ・新實広記 「現代日本のガラスアート」 2024 年 7 月 市立小樽美術館/小樽・北海道
- ・新實広記 「ポケモン×工芸 美と技の大発見」 2024 年 3 月 佐川美術館 /守山・滋賀
- ・新實広記 「POKÉMON X KOGEI Playful Encounters of Pokémon and Japanese Craft」
2023 年 7 月 JAPAN HOUSE/Los Angeles Ovation Hollywood・USA
- ・新實広記 「Vessel」 個展 2023 年 11 月 GALERIE hu/名古屋
- ・新實広記 「POKÉMON X KOGEI Playful Encounters of Pokémon and Japanese Craft」
2023 年 7 月 JAPAN HOUSE/Los Angeles Ovation Hollywood・USA

- ・新實広記 「ポケモン×工芸 美と技の大発見」 2023年3月 国立工芸館 /金沢・石川
- ・新實広記 「国際ガラス年 2022 ガラス展」 2022年12月 東京大学 安田講堂/本郷・東京
- ・新實広記 「After Prize」 2022年12月 豊田市美術館ギャラリー/愛知・豊田
- ・新實広記 「豊田市民芸館コレクション展 特別展示」 2022年7月
豊田市民芸の森 旧本多静雄亭/ 豊田・愛知
- ・新實広記 「itoten」 グループ展 2022年3月 横浜赤れんが倉庫館 1号館/横浜・神奈川県
- ・新實広記 「芸術の隣人たちー豊田気鋭のアーティスト展ー」 2022年2月
豊田市民ギャラリー/愛知・豊田
- ・新實広記 「揺籃の時間」 2021年6月
Cassina ixc. DELL' ARTE Art Gallery/青山・東京
- ・新實広記 「Vessels」 個展 2021年2月 白要堂 /愛知・豊田・足助
- ・新實広記 「itoten」 グループ展 2020年11月
京都文化博物館別館ホール/京都・中京区
- ・新實広記 「Vessel」 コミッションワーク 屋内彫刻 2020年5月
HOTEL OREIN 静岡/葵区
- ・新實広記 「itoten」 グループ展 2019年11月
横浜赤れんが倉庫館 1号館/横浜・神奈川県
- ・新實広記 「次代を担うとよたのアーティストたち展」 グループ展 2019年8月
豊田市民文化会館 展示室 A
- ・新實広記 「Vessel」 コミッションワーク 野外彫刻 2019年1月
PARK FRONT 香椎照葉 /東区・福岡
- ・新實広記 「itoten」 グループ展 2018年10月代官山ヒルサイドテラス/代官山・東京
- ・新實広記 「第7回 現代ガラス展 in 山陽小野田」 土屋良雄審査員賞 2018年7月
山口県立萩美術館 / 山口
- ・新實広記 「VESSEL-光のうつわ-」 個展 2018年7月
豊田市民芸の森 旧本多静雄亭/ 豊田・愛知
- ・新實広記 「光の図形」 個展 2018年4月 masayoshi suzuki gallery / 岡崎・愛知
- ・新實広記 「十人十色 ガラスの展覧会 Vol.5～伊賀秋色～ イートーテン」
2017年11月 史跡旧崇広堂 /伊賀市
- ・新實広記 「十人十色ガラスの展覧会 ～黒壁秋色～ イートーテン」
2017年10月 慶雲館 / 長浜市
- ・新實広記 「新實広記展-名づけられた光-」 個展 2017年5月
Cassina ixc. DELL' ARTE Art Gallery/青山・東京
- ・新實広記 「BOX 展-繋ぐ」 日本建築美術工芸協会 優秀賞 2017年4月 建築会館 (東京)

○科学研究費補助金等への申請状況、交付状況 (学内外)

なし

○所属学会

ものづくり教育会議

日本美術教育学会

大学美術教育学会

日本保育学会

○自己評価

研究においては、これまでの研究成果を活かして「質感科学ハンドブック」を共著で発刊することができた。この本は、質感に関する幅広いテーマを取り上げて、質感がどのように生まれるかの仕組みを知ってもらうための本で、執筆箇所は、第5章文化のなかの質感（芸術・工芸・歴史） 5-4 節 ガラスである。人間の文化で重要な役割を果たす物の質感が、物質からどのように生み出されるのか、また人の心にどのように働きかけるのかという問題について、物理的な仕組みと知覚やその計測についての知識を提供する。芸術作品は人の心に強く働きかける作用を持つが、宝飾品や日常的に使う食器などでも質感は生活の豊かさに深く関わっている。ガラスの質感の成り立ちを理解するために、ガラスの物質的な側面、加工技術と感性的な側面について執筆することができた。

III 大学運営

○目標・計画

【目標】

配属された業務を的確に迅速に行って円滑な運営に努めることはもとより、問題解決のための最善の方法を教職員と共に考え、学生にも意見を聞きながら改善していきたい。また、新たな可能性を常に考え、イノベーションを試みていきたい。

【計画】

学生委員会委員長として、学生の学校生活がより良くなるようにキャンパスの環境を整え、学生が挑戦できる新たな学生支援も試みる。また、学生会の運営や部活、クラブ、サークルの活性化を促すような工夫も仕掛けていく。

学生委員会メンバーと共に学生をサポートし、選ばれる大学になるように活気あるキャンパスづくりを他の委員会とも連携して行なっていく。

学部では、教育学部の魅力を発信できるように、特色ある教育プログラムの創出や、大学内外との連携を積極的に行いながら、学生の満足度と入学者が魅力的に感じるカリキュラムの考察と様々なイベントの企画、運営を行う。

○学内委員等

幼小教職課程・保育士養成部会、学生委員会（委員長）、強化指定クラブの運営方法等に関する
WG

○自己評価

各委員会、ワーキングにおいて学生生活をより良くするために、委員会メンバーと意見を出し合い、新たな仕組みづくりを行うことができた。特に、学生委員会では、委員長として委員の教職員メンバーと議論を深めながら、強化指定クラブや学生会、学生マナーなどに関して課題解決に取り組むことができた。学生会が企画する大学祭や卒業記念パーティーの運営もサポートし、学生会組織の成長を促しながら安全に行うことができた。

学生委員会が担当となる範囲は、他の委員会とも重なる部分が多くあるため、今年度同様に他の委員会とも連携して様々な課題解決を今後も継続していきたい。

IV 社会貢献

○目標・計画

【目標】

自らの専門である造形分野を生かして、地域に貢献できるように勤めたい。また、教育現場や社会における多様な課題に対して積極的に取り組んでいきたい。

【計画】

地域の子どもたちの教育活動に貢献するために、様々なワークショップやイベントを計画する。また、教育現場の課題や要望を現場教員、保育者と共有しながら、幼稚園、保育園の研修会も積極的に開催する。

また、これらの取り組みを社会に発信し、愛知東邦大学と地域との連携をさらに深め、地域から信頼され、頼られる存在となるように努める。

○学会活動等

- ・日本美術教育学会大会編集委員
- ・全国大学造形美術教育教員養成協議会役員
- ・ものづくり教育会議研究会会長

○地域連携・社会貢献等

- ・他大学連携造形ワークショップ ことことキャラバン 2024 in 愛知東邦大学
会場：愛知東邦大学 LC ホール 協力：至学館大学、愛知学泉大学 2024年12月
- ・造形ワークショップ企画 TOHO アートキャラバン 2024 vol.5 「おしゃれなぼうしとおしゃれなふくをつくろう！」
会場：愛知東邦大学 LC ホール 2024年12月
- ・TOHO アートキャラバン 2024 vol.4 「大きな大きな絵を描こう！」
- ・令和6年度名古屋市保育士現任者研修 講師 2024年8月
- ・愛知県私立幼稚園連盟2年目教員研修会 造形表現 講師 2024年9月
- ・令和6年度名古屋市保育士現任者研修 講師 2024年11月
会場：愛知東邦大学 LC ホール 2024年8月
- ・TOHO アートキャラバン 2024 vol.3 「夏祭り造形屋台で遊ぼう！」
会場：愛知東邦大学 LC ホール 2024年8月
- ・造形ワークショップ企画 TOHO アートキャラバン 2024 vol.2 「ゆめのまちづくり」
会場：愛知東邦大学 LC ホール 2024年8月
- ・造形ワークショップ企画 TOHO アートキャラバン 2024 vol.1 「造形ワークショップ」
会場：愛知東邦大学 LC ホール 2024年7月
- ・「ことことキャラバン 2023 in 愛知東邦大学」
会場：愛知東邦大学 LC ホール 協力：至学館大学学生、豊橋創造大学 2024年1月
- ・「ことことキャラバン」 in 愛知東邦大学 造形ワークショップ
2024(令和6)年1月20日 13:00～15:00 協力：至学館大学学生、豊橋創造大学 2024年1月
愛知東邦大学、至学館大学、豊橋創造短期大学
との連携にて実施
- ・「ことことキャラバン」 in おかざき世界子ども美術博物館 造形ワークショップ
2023(令和5)年11月25日 13:00～15:30
愛知東邦大学、名古屋学芸大学との連携にて実施

- ・「津島市立高台寺小学校学校美術館プロジェクト」
作品展示・鑑賞教室・アーティストトーク
講師 2023(令和5)年11月17日 津島市立高台寺小学校学
- ・愛知県私立幼稚園連盟2年目教員研修会 講師 2023(令和5)年8月26日
- ・講演会企画 ものづくり教育会議 「海賊船の活動と理念」
講師：NPO 法人海賊船 理事長 田中 徹 氏 2023年6月24日 14:00～14:50

○自己評価

日本美術教育学会において、今年度も大会冊子編集委員として様々な研究の成果を一つの冊子にまとめ、広く研究の成果を示すことに貢献できた。愛知県私立幼稚園連盟、名古屋市保育士現任者研修の研修会では、日頃の研究成果を伝え、子どもの造形活動の意義や現場教員の課題解決に貢献することができた。

また、学生の授業成果と実践力を養うために、今年度は多くの造形ワークショップを開催でき、大学周辺の地域の子どもたちに対して、造形ワークショップの企画を学生と共に行うことができた。

V その他の特記事項（学外研究、受賞歴、国際学術交流、自己研鑽等）

配属された仕事はもとより、積極的に研究活動、大学運営に関わり、自らのスキルを増やして、学生、教職員から、真に信頼して事を任せられる人材になれる様に努めたい。

VI 総括

教育活動においては、学生が子どもと触れ合い実践的な学びができるように、教授方法の工夫や環境の整備を行ってきた。今年度は特に地域との連携を重視して近隣の小学校や幼稚園にお声かけをしながら、学生と造形ワークショップの実施やサービス・ラーニングを実施することができた。また、地域で子どもに関する分野で活躍する人物をゲストスピーカーにお迎えして、学生に好奇心と将来のビジョンを考えるきっかけを持てるようにリアルな学びができる授業内容を工夫することができた。研究活動では、教育現場に訪れ子どもや保育者と触れ合いながら、学校美術館の実施や研修会などを積極的に行うことができた。今後も、現場教員や保育者の課題と向き合いながら、研修会や学会などで共に意見交換をして、さまざまな課題解決の方法を考えていきたい。

各委員会では、委員会メンバーの教職員からの助けを得ながら迅速かつ的確に業務を行うことができた。学生委員会委員長としては、今年度も学生の目線になり、学生生活がより良くなるようにさまざまな課題の解決とその方法を委員会メンバーや他の委員会と議論し実行することができた。今後も学生にとって魅力的なキャンパスになるように課題の発見と改善を学生目線で継続して行なっていきたい。

今後も、共に働く教職員に対して「感謝」の気持ちを大切にして、学生のより良い教育環境の整備と大学教育全体の発展へとつなげていくことを目標に努力していきたい。

以 上